



2/14 オリジナル体操とウォーキングで健康づくり がんじゅうさびら表彰式受賞者表敬訪問



宜野湾市健康づくり推進員の皆さんが市役所を訪れ、1/21(土)にサンエー浦添西海岸パルコシティにて行われた「令和4年度沖縄県健康づくり表彰(がんじゅうさびら表彰)式」において、地域活動部門グランプリを受賞したことを報告しました。徳元哲博会長は「このような大きな賞を受賞することができ、大変うれしく思います。これからも市民の健康づくりサポートを頑張ってください」と語りました。

2/20 「フードドライブ」活動として 食料品362kgを宜野湾市社協へ贈呈



女性専用フィットネスクラブ「カーブス」宜野湾上.原店、サンエー宜野湾コベンションシティ店より、宜野湾市社会福祉協議会に食料品の贈呈がありました。会員の皆様より家庭にある食料品を集め、今回362kgの食料品をご寄贈いただきました。上原店の知念店長は「私たちの力を、フードドライブを通して大きな輪にし、たくさんの方のお力になれるよう取り組みました」と語りました。

2/26 誰一人取り残されない社会の実現へ 女団協ってなあに? パネルディスカッション



宜野湾市女性団体連絡協議会(崎原美智子会長)が宜野湾市立中央公民館で、男女共同参画からつなぐSDGs「誰一人取り残されない社会」の実現に向かって、ホームページとパネルディスカッションで発信しました。初加入の男性理事へ質問が集中する中、崎原会長は「多様な時代の先駆けとして“女団協”から“女男協”へ検討し、各団体のSDGsに協力しながらデジタル社会と向き合っていきたい」と語りました。

2/20 長田小学校児童会の展望を引き継ぐ 学校キャラクター「ナガピヨ」へ込めた思い



長田小学校にて、児童会役員(現6年生)から新役員(現5年生)への、学校キャラクター「ナガピヨ」へ込めた思いと新たな活動への展望を引き継ぎました。「ナガピヨ」は全校生徒約700名によるキャラクター選挙にて選ばれました。児童会役員(現6年生)からは「長田小全体で案を出しながら一つのことに取り組んだことで、ワクワク感を共有し、学校を明るくすることができた」と語りました。

2/22 少しずつ努力することは、いつか大きな形となる 第24回 全国中学選抜卓球大会出場報告



真志喜中学校の牧志拓夢さんと永田俊さんが市役所を訪れ、第23回全九州卓球選手権大会結果報告および第24回全国中学選抜卓球大会出場報告をしました。牧志さんは「九州大会では惜しくも予選リーグで落ちてしまいましたが、次の全国大会では決勝リーグで勝つことを目標に頑張ります」、永田さんは「全国大会では一位で決勝リーグにいきたいです」と語りました。

市政 フラッシュ

2/14 日本郵便株式会社沖縄支社との包括連携協定



日本郵便株式会社沖縄支社との包括連携協定締結式およびオリジナルフレーム切手「宜野湾市制施行60周年記念」贈呈式が行われました。久田雅嗣日本郵便株式会社沖縄支社長は「この協定が経済活性化の一助になるものと期待しております。県内郵便局においても目指すべき姿として、うちなんちゅの幸せを支援することを掲げており、社員全員が共通意識の下で取り組んでまいります」とあいさつしました。

1/23 総勢7000人の頂点へ 全日本通信珠算競技大会優勝報告



照屋太晴さん(宜野湾小4年)が市役所を訪れ、「令和4年度全日本通信珠算競技大会」優勝報告をしました。今大会は国内に約120会場を設けて、競技を行い、その成績を集計して全国順位を決定する大会になります。照屋さんは「自信はなかったけど優勝できて嬉しかったです。次の目標は、全日本珠算選手権大会小学校の部とフラッシュ暗算の部で優勝することです」と語りました。

1/27 STOP! 飲酒運転!! 交通安全功労者等表彰式



交通安全に対する意識の高揚を図り、交通事故防止に資するため、交通安全に顕著な功労のあった個人および団体を表彰する沖縄県交通安全功労者表彰式が県総合福祉センターにおいて開催され、上大謝名婦人会の波平道子会長が交通安全功労団体を受賞し表彰されました。波平会長は「今後も子どもたちの見守り活動を続けるとともに、飲酒運転の根絶に努めてまいります」とあいさつしました。

2/6 「ターチ」と「ムーチ」でターウム(田芋)の日 「宜野湾市ターウムの日」をPR



市特産品である大山ターウムの魅力を多くの市民・県民に周知し、次世代に継承することを目的として、ターウムのター(ターチ:2)と、ム(ムーチ:6)のごろ合わせをとり、2月6日を「宜野湾市ターウムの日」として条例で定めています。市の農水産業振興拠点施設である『ぎのわんゆいマルシェ』にて、大山産田芋田楽の無料配布と田芋の特別販売を実施し、ターウムをPRしました。

1/25 交通安全運動3000日達成!! 「小さな親切」実行章贈呈式



「小さな親切」実行章贈呈式が市社会福祉協議会にて行われました。これは、仲村渠満事務局長が継続して行っている、交通安全指導の活動が評価されたもので、仲村渠事務局長は「今後とも子どもたちの笑顔を見られるよう楽しみながら活動してまいります」と述べました。「小さな親切」実行章は、身近な街の親切さんに賞状を贈呈し、感謝すると共に、地域にあたたかな心の輪を広げる活動をしてまいります。

1/31 未来への一步 将来の目標に 普天間中学校(1学年) 職業体験学習



地域の様々な講師をお招きし、講話や体験を通して、仕事に対するやりがいや厳しさ等を学ぶ場を提供して、体験から夢や進路について深く考え、早い時期から職業観を育むことを目的とする職業体験学習が、普天間中学校にて行われました。体験した生徒からは「まだ将来の夢は決まっていけど、体験を通してとても楽しかったので目指してみようと思いました」と喜びの声がありました。

2/10 専門的な知識や視点からの助言で解決 苦情解決委員委嘱状交付式



市役所にて「令和4年度苦情解決委員委嘱状交付式」が執り行われ、田中将太さん(琉球大学講師)、島田考人さん(弁護士)、玉城久美子さん(地域包括支援センターかいほうセンター長)、宮里啓子さん(元市保育所長)が就任しました。就任した田中さんは「利用者や提供者の思いを汲み取り、話し合う中で、より良い福祉サービスにつなげていけるよう尽力してまいります」とあいさつしました。